

令和 8 年 2 月 6 日

大山町議会議長 吉原 美智恵 様

大山町議会議員 米本 隆記

令和 8 年大山町議会議員研修報告書

1	日 時	令和 8 年 2 月 2 日 (月) ~ 3 日 (火)	
2	研 修 地	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研究所	
3	研 修 内 容	(内 容)	(場 所)
		人口減少社会における地域の課題	滋賀県大津市
4	研修結果 又は概要 (意見・ 感想)	<p>人口減少のメカニズムと地方創生 熊本大学副学長・研究開発戦略本部教授 金岡省吾氏</p> <p>1.消滅可能性都市 将来出身地が消滅する 人口減少はなぜ起きる 進学・就職・結婚・・・か 熊本の高校生 100 人に聞く 地元で活躍すると答えた人 わずか 5 人 大都市への若者流入が人口減少に拍車をかけた 進学先昭和 46 年東京・愛知・大阪・福岡に令和 6 年宮城・石川・広島が仲間入り</p> <p>この現状を変える 未来創造塾 40 歳以下の若者で意見を出し合い小さな起業に繋げる 起業者を多く作り地域の活性化に 流失を減少に</p> <p>人口減少が引き起こす地域課題 熊本大学副学長・研究開発戦略本部教授 金岡省吾氏</p> <p>2.人口が減少していけば商店や GS・路線バスなどがなくなる 日常生活が困難に 住民主体のコミュニティビジネス 行政・団体・企業・住民・NPO がそれぞれ結びつき新たな共同を形成 小さな拠点を 実現の担い手は地元の中小企業・小規模事業者である 未来創造塾での話し合いを生かし空き家・廃校を使って介護予防・子供の居場所・地元産品加工・買い物弁当配達などの拠点に</p> <p>*未来創造塾 40 歳以下の多種の職業人が話し合い地域課題解決に地域ビジネスで挑む</p>	

<p>研修結果 又は概要 (意見・感想)</p>	<p>3.人口減少社会における取り組み 1</p> <p>熊本県八代市経済文化交流部商工政策課雇用創生係長 鶴山朋子氏 地域課題をビジネスで解決 八代市の例 地域と企業が WIN-WIN となる関係性を構築</p> <p>これらが企業として成り立つ様に両方を解決できる事業を自ら考える 未来創造塾生同士の例 民間経営の学童保育・スポーツクラブとタクシー会社 共創 送りに利用会員の確保と利用者増 乗車率向上で売り上げ UP</p> <p>4.人口減少社会における取り組み 2</p> <p>熊本大学研究開発戦略本部値域連携戦略部門政策研究員 境一磨氏 (菊池市より派遣) 高校との連携 菊池市の例 未来創造塾卒業生の事業所で高校生のフィールドワーク受け入れ 小中高大連携事業 カッコいい大人との関わりで高校生の意識を変える どのような未来を創っていくのか社会や人生をより良い物にして行くという目的を 自ら考えだすたくましく未来を生きる生徒を育成する 熊本大の講師による市の人口減少をテーマにした講義と塾を卒業した若手経営者による取り組み発表などをセットに市内3校で実施 高校生にもこの取り組みを実践し高校の特色にしていく 入学希望が増加 親が勧めるようになる</p> <p>5.値域の課題解決に向けて</p> <p>熊本大学副学長・研究開発戦略本部教授 金岡省吾氏 人口減少時代の新たな地域づくりによる未来への可能性 第3次国土形成計画 未来創造塾を起点とした新たな政策の可能性 産官学金連携による文理融合を通じて課題かて僕に向けて自ら考えて行動できる人材 プレーヤー・サポーター。関係人口か みんなが帰ってきたい、関わりたいと思う 八代 菊池</p> <p>まとめ 人口減少に何故なるのか。その影響はどこに現れるのか踏み込んだ講義であった。 地方創生の基である人口減少対策の取り組みに本町が実践している事と内容的には相違はないと感じた。検討したいのは未来創造塾、総合計画のように行政に対</p>
----------------------------------	--

	<p>してではなく地域をどう盛り上げるかを自分たちで考え行動する。そして小さな拠点(事業)を生み出す。それを高校生(ここでは)に繋げ流失を防ぐ。未来創造塾ができるどうかは別にしても話す場は必要と思う。ただ、大学が中心となった取り組みの一つと感ずることができが、人口規模が10万の市と1.5万の町では比べようがないと感ずる。また高校のない本町には取り入れに苦慮しそうである。</p>
--	--